



子育て情報 1月号

平成30年 1月
檀山女学園大学附属幼稚園

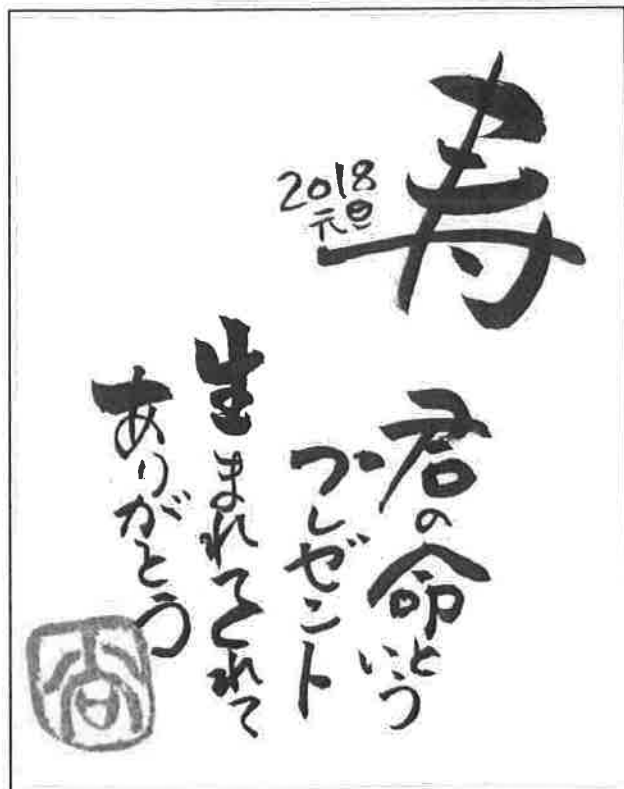
平成30(2018)年の始まりに寄せて

園長：横尾 尚子

平成30(2018)年が始まりました。今年の干支はイヌ。漢字では「戌」と書きます。「戌」は「滅(メツ：ほろぶの意味)」で、草木が枯れる状態を表現しているそうです。お正月にはあまり相応しくないように思えますが、枯葉が落ちた桜の木にやがて新しいつぼみが芽吹くように、植物が新しい生命を育てる準備をしている期間だと解され、縁起の良いものとされています。

後に覚え易くするために動物を割り当てる時に、発音が似ていることから「犬」の漢字が選ばれました。「犬」はお産が軽く、しかも一度にたくさんの赤ちゃんを産むことから、安産や子孫繁栄の祈願で用いられています。「戌」も「犬」も、新しい命を育み、健やかな成長を守ってくれる点で共通していますね。イヌ年のご加護をたっぷり受けて、子ども達が日々幸せに過ごせますように。力いっぱい遊べますように。

昨年11月末に中村先生と山田先生と三人で、長崎県佐世保市の保育園へ表現(絵画・制作)活動を学びに行きました。その成果は、先生方がさっそく園内で発揮してくださっています。私からは、そこで見つけた腰塚勇人さんの心に刻みたい言葉を紹介させてください。腰塚さんは、中学校の体育教師時代にスキー事故で首の骨を折り、全身が動かさない深刻な麻痺状況に陥りながらも奇跡的に回復・復職され、周囲への感謝とともに「命が喜ぶ生き方をすること」を自分への約束として、次の5つの誓いを編まれたそうです。



～五つの誓い～

腰塚勇人

- 口は 人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう。
 - 耳は 人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。
 - 目は 人の良いところを見るために使おう。
 - 手足は 人を助けるために使おう。
 - 心は 人の痛みがわかるために使おう。
- 私を助けてくれた ひとたちがしてくれたことを 今度は私がしよう。